

令和7年度 第2回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会報告

1 日 時 令和7年2月25日(水) 11:00～12:00 場所: あやぐも館

2 参加者

学校評議員(五十音順)

井 上 恵 一(野村石油(株)代表取締役)
楠 真 紀(特別養護老人ホーム寿楽苑 施設長)
熊 谷 琢 磨((有)フローラルクマガイ代表取締役)
土 居 真 二(西予市宇和文化会館事務局長)

学校関係者評価委員(五十音順)

岡 部 一 行(野村中学校教頭)
酒 井 康 次(西予市野村支所産業建設課長)
笹 井 弘 樹(城川中学校教頭)
谷 本 英 樹(有限会社タニヤ代表取締役)
土 居 文 人(西予市野村支所長)

野村高校学校職員

松 井 由紀子(校長)
一 色 卓 也(教頭)
清 水 和 則(事務長)
門 田 生(総務厚生課長)
牧 野 宗 員(教務課長)
三 瀬 修 平(生徒課長)
松 木 敦 志(進路課長)
小 山 尊 浩(人権研修課長)
小 西 真由子(学校魅力推進室長)
兵 頭 宏 美(農場長)
梅 田 幸 廣(3年学年主任)
岩 本 千 加(2年学年主任)
宮 本 昇 二(1年学年主任)
鈴 木 迅(教務課)



3 次 第

- (1) 開会の言葉
- (2) 校長あいさつ
- (3) 議 題

ア 各課説明(各課長)

イ 意見交換

○生徒の活動について

- ・近所で会った時に挨拶はしてくれるし、服装の乱れも見られない。しっかりと規律を守れていると思う。地域行事にも笑顔で参加してくれて嬉しい。今後も継続してほしい。
- ・畜産科の生徒が自主的に授業外で動物の管理等されたり、県内外に学校PRをしたりするなど様々な頑張りを教えていただいた。畜産科や動物園に魅力が多いが、普通科の魅力も発信できるとさらに良いなと思う。
- ・ファームステイや高校祭で生徒と関わった。野村高校生は素直で熱心に興味深くいろんなことをしてくれる。高校祭への参加はPTAも協力的で年々盛り上がっていると感じている。
- ・高校生の自転車の交通マナーについて一度学校に相談すると、対応してくれ改善が見られた。原付による自損事故があったようだが、今後も気を付けてほしい。
- ・今後も探究活動を通して、地域の魅力を学び発信してくれると嬉しい。年々子どもの数が減り、地域外の学校に進学する生徒がいることを課題に感じている。

- ・事前配布資料に各クラス、学年別の人数が載っていると高校の現状が把握しやすい。
- ・様々なメディア露出（青春ジャック等）から高校生や学校の雰囲気の良さが伝わってくる。安心して生徒を送り出せる。
- ・地域行事である乙亥大相撲へ学校全体として参加してくれ、例年になく盛り上がりだったと感じる。地域の小中高の児童生徒が参加してくれ嬉しかった。今後も継続してほしい。
- ・近隣の高校から毎月学校便りが届く。野村高校の魅力を中学生に伝えるためにも、野村高校からもよければいただきたいと思う。
- ・県外での学校PR活動時、生徒自身が説明している姿が印象的であった。県外生徒からの実体験を聞くことができるのは中学生にとってとても魅力的だと感じる。定員オーバーを目指して魅力発信を続けてほしい。
- ・市外や県外から生徒を呼ぶために下宿先の確保は大切である。来年、もう1軒建設予定である。下宿生や下宿提供者に市からも補助を考えている。協力できることはしていきたい。
- ・生徒の地域イベントへの参加とても感謝している。今年5月3日に開催される朝霧湖マラソンは定員の2600人に達しそうなところである。ぜひ今年も高校生にボランティアに参加していただきたい。

○公営塾について

- ・公営塾はどんなことをされているのか。
 - 地域おこし協力隊の3名が生徒の学習機会の確保や探究活動への協力をしてくださっている。また、英語教育にも力をいれており、英検対策も行ってもらっている。しかし、1月から2名が休暇をとっており、利用者が0の日もある。学校として連携が難しい時もあるが、生徒の学習機会の確保と3人が活躍できる場として活用していきたい。
- ・3名の方からの報告もあると、活動内容等より見えてくる気がします。

- (4) 事務連絡
- (5) その他
- (6) 校長あいさつ
- (7) 閉会の言葉